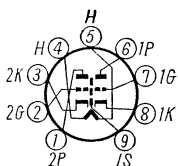


6R-HH2 4R-HH2



高周波増幅用双3極管

6R-HH2 および 4R-HH2 は9ピンの MT 管で、テレビジョン受像機の初段カスコード増幅用として特に設計された双3極管です。この真空管は、従来この種の用途に使用していた 6BQ7-A にくらべ非常に高い相互コンダクタンスをもち、その割に電極静電容量が小さく、且つ雑音レベルが低いので、安定した高利得を行うことができます。

この他 6R-HH2 は FM 受信機の高周波増幅、周波数変換に使用した場合の利得、変換コンダクタンスが大きい特長をもっています。

4R-HH2 はヒータ・ウォームアップ・タイムが規定されておりますからトランスレス・テレビ受像機に好適です。

カソード 傍熱型	4R-HH2	6R-HH2
ヒータ電圧	4.2	6.3V
ヒータ電流	0.6	0.4A
ヒータ・ウォームアップ・タイム (平均値)	11	— 秒

外形 21-2

電極間静電容量 (概略値) (外部シールド付)	ユニット 1	ユニット 2
グリッドとプレート間	1.2	1.2pF
入力側 (カソード接地)	—	3.3pF
入力側 (グリッド接地)	5.6	— pF
出力側 (カソード接地)	—	1.3pF
出力側 (グリッド接地)	2.4	— pF
プレートとカソード間	0.15	0.15pF
プレート(1)とプレート(2)間	最大	0.01pF
プレート(2)とプレート(1), グリッド(1)間	最大	0.03pF

A₁ 級増幅用 (各ユニット毎)

最大定格

プレート電圧	最大	150V
プレート損失	最大	2.0W
プレート電圧 (カットオフ時)	最大	300V
カソード電流	最大	20mA
ヒータ・カソード間電圧	最大	200V*

グリッド抵抗.....最大 0.5MΩ
 *ヒータがカソードに対して正電位の場合は、直流分は 100V を超えないこと。

特性

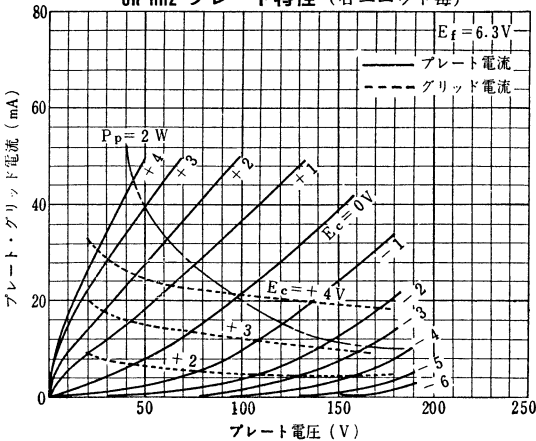
プレート電圧.....90V
 グリッド電圧.....-1
 増幅率.....36
 プレート抵抗.....4500Ω
 相互コンダクタンス.....8000μV
 プレート電流.....8.5mA
 グリッド電圧 (プレート電流 10μA のとき) (概略値).....5.5V

動作例

カスコード増幅用**

プレート電圧.....180V
 グリッド電圧.....-1V
 相互コンダクタンス.....9500μV
 プレート電流.....12mA
 グリッド電圧 (gm=50μV のとき) (概略値).....-6V
 電圧分割抵抗 R₁**.....220kΩ
 " R₂**.....330kΩ

6R-HH2 プレート特性 (各ユニット毎)



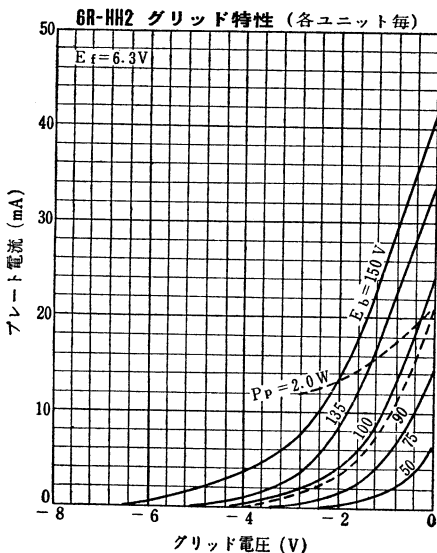
**次頁記載の回路による。

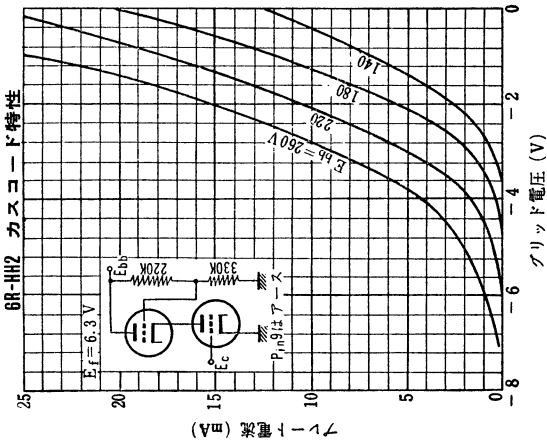
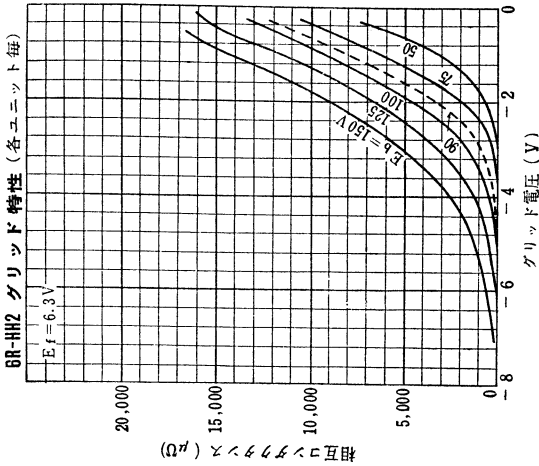
周波数混合用

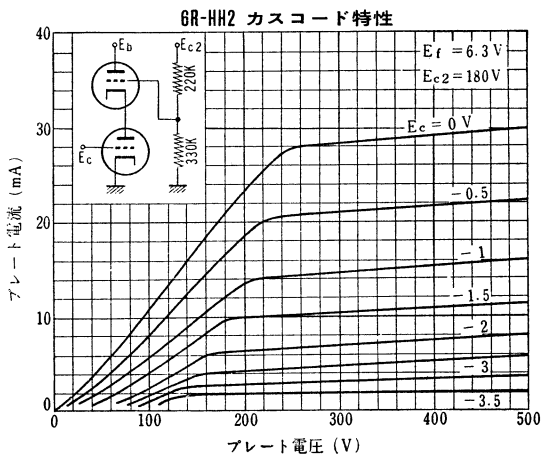
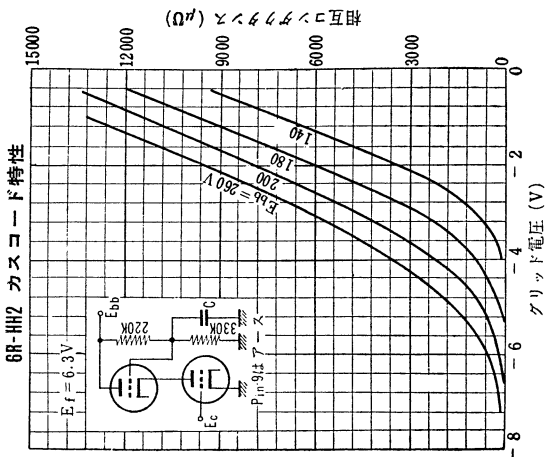
プレート電圧	75	100	125V
直流グリッド電圧	0	0	0V
グリッド抵抗	250	250	250k Ω
発振電圧	1.8	2.2	2.6Vrms
変換コンダクタンス	3350	4200	5050 μ U
プレート電流	4.1	7.0	10.7mA

使用上の注意

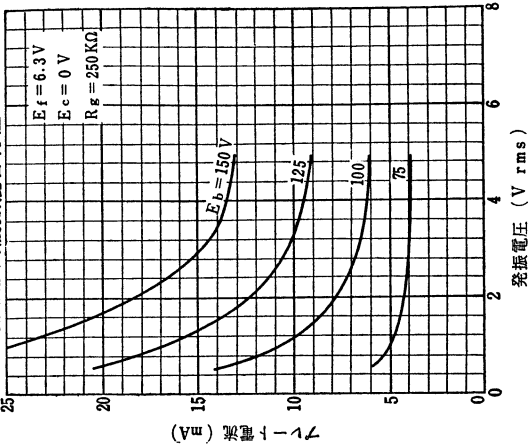
1. カスコード接続として御使用の際は、ユニット2をカソード接地側に、ユニット1をグリッド接地側に使用して下さい。
2. AGC 電圧は一番浅いところで $-0.5V$ より浅くならないようにして御使用下さい。
3. チューナー或はスピーカーは、シャーシーを伝わる音声の振動をさけるために、緩衝物質で浮かして御使用になることを推奨します。







6R-HH2 周波数混合特性



6R-HH2 周波数混合特性

